

## 7. その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

### DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率の集計方法と定義

※ 医療の質の改善に資するため、臨床ゼロにはなりえないものの少しでも改善すべきものとして、重篤な疾患である敗血症（注2\*）、播種性血管内凝固症候群、手術・術後の合併症、その他の真菌症について、入院契機病名（DPC6 桁レベル）の同一性の有無を区別して患者数と発症率を示しています。

(注1\*)DIC(播種性血管内凝固)とは

様々な基礎疾患に合併して凝固系が亢進し、全身の細小血管内に微小血栓が多発して臓器障害が起こる病態。これに伴って凝固因子、血小板が大量に消費されて減少し、また線溶系も亢進するため出血症状をきたす。原因となる基礎疾患には悪性腫瘍、敗血症が多い。【引用元:医療情報科学研究所 メディックメディア 病気がみえるVol.5 血液】

(注2\*)敗血症とは

細菌感染によって引き起こされる全身性炎症反応（SIRS）【引用元:医療情報科学研究所 メディックメディア 病気がみえるVol.5 血液】

DPC	傷病名	入院契機	症例数	請求率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	4	0.05%
		異なる	36	0.48%
180010	敗血症	同一	35	0.47%
		異なる	19	0.25%
180035	その他の真菌感染症	同一	0	0.00%
		異なる	1	0.01%
180040	手術・処置等の合併症	同一	71	0.95%
		異なる	13	0.17%

